



エンドウ

OER 3000SSE

1/80・16.5mmゲージ
プラスチック製完成品



2023年夏～秋頃 発売予定

EI0091 小田急3000形SSE 5両セット・・・価格未定

1957年に登場した小田急3000系SE車はロマンスカーとして箱根本線で10年以上にわたり活躍しましたが、1967年に後継車である3100形NSEが登場すると主力の箱根特急の運用からは外れ、江ノ島線や緩行特急としての運用に回されていきました。しかし、1968年に国鉄御殿場線電化にともなう電車での直通運転が開始されることになり、SE車での8両編成を5両編成に組み換え、通常連結器の増設、パンタグラフやライト位置の変更、電光式の愛称幕の設置などの改造が施されて新たな姿となりSSE(Short Super Express)という名が与えられ1991年まで永く活躍しました。

今回エンドウではこの昭和を代表するロマンスカーをNSEに続いて製品化いたします。

更新前の大型クーラーキセ時代の姿をモデルとし、

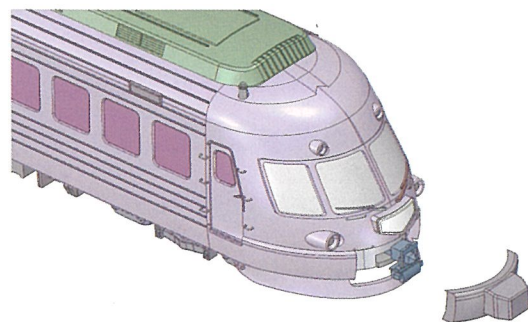
特徴的な接続構造ならびに低い車高を再現しました。

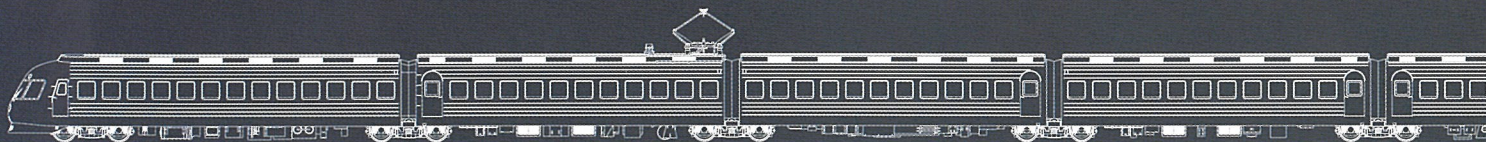
連結器カバーは開状態と閉状態の選択式、内部には連結器が搭載され、

実車同様に編成同士を連結させて10両での運転も可能です。

製品仕様：プラスチック製鉄道模型完成品 5両編成(1M4T) モーターは3号車に搭載
金属製パンタグラフ搭載 ヘッドライト・テールライト点灯(ヘッドライトはON/OFF切替可能)
愛称幕点灯式 全車室内灯装備 前面連結器カバー差し替え式 シリコン製接続ホ口搭載
最小通過半径R550(設計値)

小田急電鉄株式会社商品化許諾申請中





2023年夏～秋頃 発売予定

1/80・16.5mm ゲージ プラスチック製完成品

EI0081 小田急3000形SE車 8両セット・・・価格未定

小田急 3000 系は 1957 年に箱根直通特急用として登場しました。数々の新機軸が投入された 3000 系には SE(Super Express) の通称が与えられましたが、それまでの 1900 系などの箱型の電車と異なり、曲面で構成された流線形の低く美しい車体は大きく話題となり、もうひとつの愛称である「ロマンスカー」の名とともに小田急の看板列車となりました。

今回エンドウではこの昭和を代表するロマンスカーの登場時の姿である SE 車を SSE とともに製品化いたします。

3000 系本来の 8 両固定編成、非冷房時代をモデルとし床下機器や座席配置、パンタグラフなど、SSE と異なる細部を作り分けました。

製品仕様

プラスチック製鉄道模型完成品 8 両編成 (2M6T) モーターは 3・6 号車に搭載
金属製パンタグラフ搭載 ヘッドライト・テールライト点灯 (ヘッドライトは ON/OFF 切替可能)
全車室内灯装備 シリコン製連接ホロ搭載 最小通過半径 R550 (設計値)